

田中良区長は次のような決意を発表しました。

問題を先送りせず、 世代の責任を果たす。

我々が目指すべきは、貧富の差なく、全ての人が適切な医療や教育や福祉サービスを受けられる社会です。

杉並の勇氣

ところが、今年生まれた子が結婚する頃には国民4人に1人(現在は、6.5人に1人)が75歳以上の超高齢社会になっています。

この間、医療や介護の費用は膨張を続け、現役世代は減少し続けて、その負担能力は限界に達するかもしれません。この様な難しい時代に挑むからには、問題を先送りせず各々が世代の責任をしっかりと果たしていくことが大切です。

私はこれまで同様、その先頭に立って行こうと思います。

杉並区長 **田中良**

経歴 昭和35(1960)年杉並区生まれ。ひまわり幼稚園、桃井第五小、獨協中・高、明治大学政治経済学部卒。テレビ東京社員を経て、平成3年杉並区議初当選。平成5年東京都議、以後5期連続当選、都議会議長等を歴任。平成22年杉並区長に就任(連続3期)。



皆さんの声をお聞かせください

10年先の杉並がよりよい姿であり続けるために—

3つの基本理念

新たな杉並区基本構想を策定

1 認め合い支え合う

誰一人として差別されず、取り残されない社会をつくります

2 安心・安全のまち つながりで築く

区民、団体、企業、行政などこのまちに関わるすべてが主体となり、まちの将来を築きます

3 次世代を育み 引き継ぐ

まちに根付く文化や遺産、自治の歴史を継承し、このまちに誇りを感じながら暮らす人々を増やします



青山侑基本構想審議会会長より答申を受け取る(令和3年9月)

皆さまへのお約束

初心忘れず「区民福祉の向上こそ最大の使命！」

子育て もっと・子育て 地域で支える

- 希望する全員が認可保育園に入れる環境を保育園の兄弟枠を新設、障がい児保育の充実
- 児童館事業の発展で、切れ目のない子どもの居場所づくりを整備
 - ・子ども・子育てプラザを7地域に各2か所整備
 - ・学童クラブの受け入れ枠拡大、障がい児学童の充実
 - ・「コミュニティふらっと」で多世代交流

児童館を新しい居場所に移行した実績

利用者は子ども・子育てプラザで、**5倍!**
放課後等居場所事業では**2倍**に!

- 高校生の医療費を無償化
- 区立の児童相談所を開設
- 地域の公共財としての学校施設の有効利用

福祉 すべての区民に 寄り添う福祉

- 特別養護老人ホーム実質待機者ゼロの継続
- 介護人材の育成・確保
- 認知症早期発見の取り組み実施
- ICTを活用した単身高齢者世帯の見守り
- 高齢者が安心して移動できるまちの整備
- 「親亡き後」の障がい者の生活支援
- 障がい者スポーツの充実、区立体育施設での「ユニバーサルタイム」(専用時間帯)の開設
- ヤングケアラーを支える仕組みを構築
- 医療的ケアのある子どもの生活をサポート
- 子どもの貧困対策を推進
- 行政サービスの質の担保と万一の備えのために一定程度の直営体制を堅持(保育・学童、清掃事業)
- 健全な財政運営を堅持

まち 誰もが移動しやすく づくり 人に優しいまちづくり

- 不燃化や狭あい道路の無電柱化などで災害に強いまちづくりを推進
- バリアフリー化の推進、区内鉄道駅のホームドアの設置支援
- 駅周辺の整備で利便性と安全性を向上(荻窪、阿佐谷北東地区、浜田山駅南口)
- 中央道高井戸オンランプの開設促進
- 区民参加で脱炭素化まちづくりにチャレンジ、遊休区有地を活用した太陽光発電事業
- 都立和田堀公園内ヘドッグランの整備
- 都市農業振興の促進
- コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化、地域の文化やイベント復活をサポート

NEWS 2022.5

杉並を良くする会

〒167-0053 杉並区西荻南3-14-6
TEL: 03-5941-7652
FAX: 03-5941-7653

田中良区長に寄せられたみなさまの声を紹介します。

これからが
本領発揮

前進を期待!!

党派を超え、杉並を想う皆さんが結集

保坂展人さん

世田谷区長



田中区長はコロナ対策で医療現場に立脚した対策の先頭に立ちました。国や都にも互いに連携し、力を合わせていきます。

畠中君代さん

元プロテニスプレーヤー



田中良区長さんは私の後輩です。区民の意見を聞いて次のステージに向かって尽力していきます。これからも杉並のために頑張ります。

石原伸晃さん

前衆議院議員



田中さんは待機児童ゼロ、特養の増設。実績があります。子どもからお年寄りまで住みやすい杉並をお願いします。

河北博文さん

河北医療財団 理事長



田中良さんのコロナ対策は、多くの方々から高い評価を得ています。自信を持って応援できます。

松葉多美子さん

東京都議会議員



保育待機児童ゼロ、学校体育館のエアコン設置、特養ホームの増床など実現した田中良区長には更なる区民福祉の向上をお願いします。

河原 一さん

東京阿波おどり振興協会理事長



賑わい創出事業でも、コロナ禍で組織運営が厳しい中でも、常に支援の眼差しで対応いただいています。



結果を出す

確かな実績で区民福祉と生活を向上

コロナ対策に全力

基幹4病院でのコロナ患者入院病床の確保

区内基幹4病院(河北総合病院、荻窪病院、佼成病院、東京衛生アドベンチスト病院)に対する区独自の包括補助を実施。区内病院でのコロナ患者の早期受け入れを実現

自宅療養者支援ステーションの開設

区役所職員の総力を結集し、最大1,800人の自宅療養者に対する健康観察を実施できる体制整備

ワクチン接種体制強化

安心して受けられる集団接種会場の増設と接種時間の拡大
高齢者には日時・会場を指定した接種券を発送

発熱外来センターの設置

区内基幹4病院に外来診療スペースを設置

PCR 検査体制の強化

検査バスの導入や、大規模PCR検査場を開設
区内各所での検査を実施

中小企業や商店街、文化・芸術活動の支援

- 打撃を受けた方々を支援し、区内経済の活性化
- ① 新型コロナ特例資金融資限度額の拡大、返済据置期間を拡充
- ② 信用保証料の全額補助 ③ 区内アート支援800件

子どもたちに寄り添う

保育の待機児童ゼロの継続

子育て世帯からの切実な声を受け、あらゆる手立てを講じて認可保育所の整備を実施。その結果、5年連続で待機児童ゼロを達成。園長経験者による巡回指導で保育の質も確保。安心して子育てができる環境を全力で実現してきました。

- 区立小中学校へのエアコン設置完了
- 子育て寄りそい訪問開始(ハロー! なみすけ訪問)
- ICTを活用した教育の推進
- 地域全体で子育てを応援 「子ども・子育てプラザ」続々開設
- 次世代育成基金の創設
- 就学前教育支援センターの開設
- 産前産後のサポート体制の充実

特別養護老人ホーム

10年で1,000床増計画達成

- 全国初、区域外特養 「エクレス南伊豆」開設
- 認知症対策の総合的推進
- 安全で質の高いがん検診体制の確保、拡充

地域共生社会の拠点

「ウェルファーム杉並」の開設

国との財産交換で取得した旧荻窪税務署等跡地に開設(平成30年4月)。介護や子育て、生活困窮者など、複合的な課題が生じている世帯に対して様々な側面からのサポートを行う「地域共生社会」づくりの拠点が実現しました。同施設は先駆的な取り組みとして他自治体からも注目されています。

- 農福連携農園「すぎのこ農園」開園
- 全国初、医療的ケア児を受け入れる 障がい児保育園「ヘレン」の開設
- 障がい者の移動支援事業の大幅な拡充を実現
- 重症心身障がい児通所施設「わかば」開設



数字でみる
杉並区政

住みよいまち
だと思える人



区の事業・サービスへの
満足度



区内建築物
耐震化率

